

1. 実施した建設副産物の省資源化：①の建設副産物の資材名又は建設副産物名（土、コンクリート、ボード材、ほか）、又は建設副産物名（残土、埋戻し土、ボード残材フローリング廃材ほか）のいずれかを記載する。②は実施した内容と留意した事を具体的に記載する。（例：耐圧盤打設後に発生する木製型枠廃材の省資源化のため、材料・形状に留意して設計監理者と協議の上、耐圧盤の外側の形状等凹凸の無いようにし、金属パネルとした等）。③は結果（具体的に数値等での表現が良い）とあなたの評価（例：型枠加工手間の工程も無く、予定通りに木製型枠廃材の発生が削減された）を記載する。

実施した建設副産物の資源循環化：①の建設副産物の資材名又は建設副産物名（土、コンクリート、ボード材、ほか）、又は建設副産物名（残土、埋戻し土、ボード残材フローリング廃材ほか）のいずれかを記載する。②は実施した内容と留意した事を具体的に記載する。（例：造作で廃棄処分となる予定の合板残材を養生材として使用するため、汚さないように留意して集積し、既製品のプラスチック養生材の代替えとして再利用した等）③は結果（具体的に数値等での表現が良い）とあなたの評価（例：合板の残材は同幅で残るため2枚を組み合わせて、壁仕上げ後のコーナーや建具枠の養生材として再利用でき仕上部分への傷等もなくプラスチック養生材使用が80%削減された等）を記載する。

2. 工事概要で記載した以外でも今まで経験した工事であれば記載可能。ここでは①環境負荷（地球温暖化、熱帯雨林の減少、大気汚染、水質汚染、資源枯渇等）を低減させた物（例：通勤及び工事車両、造作材の残材等）を現場で実際に②計画・実施した方法と留意した事項（例：通勤については、原則的に自動車通勤を禁止し、電車やバスなどの公共交通機関での通勤を推奨した。また現場内の共用休憩場の整備を行い、駐車場や待機中でのエンジン停止を警備巡回、安全協議をした。を記載する。

## 問題2 【解答参考例】

1.	(1)	勾配については転倒や滑りに留意して15° 以上の場合、滑り止めを設けて30° 以下とし、高さ8 m以上の場合7 m以内に踊り場を設置する。
	(2)	墜落に留意し高さ85cm以上の手摺り、高さ35cm以上50cm以下のさん、又は同等以上の機能を有する中棧等を設ける。
2.	(1)	堅枠の高さは2 m以下とし、間隔は1.85m以下とする。壁繋ぎは垂直方向9 m以下、水平方向8 m以下とし、養生材の内容に留意して決定する。
	(2)	水平材の補強は最上層及び5層以内に設置し、作業床は隙間の内容に留意して、幅400mm以上、隙間30mm以下になるよう設置する。
3.	(1)	他の仮設建物、隣地の建物、資材置場等への延焼に留意して離れた場所に不燃材料等にて構築し、周囲に空き地を設ける。
	(2)	ボンベ類の置場は通気に留意して1面は開放とし、他の3面は上部に開口部を設ける。また屋根等の設置により直射日光を遮る構造とする。

### 解説

仮設物の仮設計画の作成に当たり、留意又は検討すべき事項を具体的に記載するが、申請手続、届出及び運用管理に関する記述は除外する。

#### 1. 登り棧橋

登り棧橋は高低差がある部分に設置する仮設通路で仮設計画に当たって留意又は検討すべき事項は以下のようなものがある。

- ① 勾配については転倒や滑りに留意して15° 以上の場合滑り止めを設けて30° 以下とし、高さ8 m以上の場合7 m以内に踊り場を設置する。
- ② 墜落に留意し高さ85cm以上の手摺り、高さ35cm以上50cm以下のさん、又は同等以上の機能を有する中棧等を設ける。
- ③ 通路の幅は80cm以上とし、転倒やつまづきに考慮して床の隙間は15mm以下とし、通行に支障の無い照度を確保する。